

# 生協組合員ら約 70 名・高野の酪農一家と交流！ 生協から高野・備北の恵み牛乳 25 周年を記念して感謝状贈呈



生協ひろしまが販売する「高野・備北の恵み牛乳」の産地交流会を開催し、組合員・関係者約七十名が原料となる生乳生産を担う庄原市高野町を訪れた。

参加者は、山陽乳業(株)での工場見学後、高野ファーマーズマーケットに会場を移して交流会を行い、高野町内の生産者、向田さん、鉄原さん、(市原さんは都合により欠席)が出迎え、フレンチトーストとミルクスープ等の牛乳料理や手作りバター体験、牛乳飲み比べクイズを催し、参加者を楽しませ、交流を深めた。

その後は、バスで向田牧場に向かい、向田康浩さんからの牧場概要の説明を聞かれた。産まれて間もない子牛の登場に喜び、トウモロコシの圃場やラップサイレイジも見学され、ラップサイレイジの大きさとおいが参加者の興味をひいていた。

酪農に対しても興味津々で、「子牛にはどんな餌をあげますか?」、「餌は草だけですか?」、「雪は大変ですか?」等々、多くの質問が投げかけられ、向田牧場の後継者 修実さんは一問ずつ丁寧に答えられていた。

牧場見学を終えた後、生協ひろしまの横山専務理事から、高野・備北の恵

み牛乳二十五周年を記念して、生産者への感謝状が贈呈された。  
参加者からは、見て・感じ・触れた普段は接することの無い酪農に接し、有意義な交流会であったとの感想を聞いた。



(感謝状を手に喜びのスナップ)



(牧場視察で質問に答える修実さん (左))